



冬休みすいせん図書(3・4年)



令和3年12月 杉教研学校図書館部

もうすぐ冬休みです。いつもより少し長い本を読んでもみるのはいかがでしょうか。
部屋をあたたかくしてゆっくり読書もいいですよ。

『福祉用具の図鑑―手や足の働きを助ける』

徳田克己：監修

金の星社

障がいのある方々やご高齢の方々は、日々いろいろな不便を感じながら生活しています。その不便を少しでも楽にするために「福祉用具」が考案されました。道具だけで全ての不便が解決できる訳ではありませんが、「知る」ことこそが、障がい理解（心のバリアフリー）の第一歩になるはずですよ。

『アーヤと魔女』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ：作
田中薫子：訳 徳間書店

身よりのない子ども達がくらす家で育ったアーヤは、ある日魔女の家に引き取られますが、家に閉じこめられ手伝いばかり。アーヤは、黒ねこのトーマスと魔女に立ち向かう呪文を作ることになりましたが！！ジブリがアニメ化した原作です。

『ルドルフとノラねこブッチー』

斎藤洋：作

講談社

猫のルドルフ 5 作目が登場。前作で飼い主が引越してしまい、ノラねこになったブッチー。目撃情報から元飼い主が、現在甲府に居ることを突き止めます。ねこの友情、絆、そしてイッパイアッテナのかっこよさが詰まった作品です。

『ナマコ天国』

本川達雄：作

偕成社

海辺にゴロゴロ転がっている黒いかたまり・・・それは、ナマコです。全然動かないし、目もないし、ゴロンとした石のように見える変な生き物。でも、ナマコにはすごい秘密があるのです。読んでびっくり！ウソみたいなナマコの話です。

『おひめさまになったワニ』

ローラ・エイミー・シュリッツ：作

中野 怜奈：訳

福音館書店

将来女王様になるコーラひめ。王様に喜んでもらいたいコーラひめは一生けんめい勉強しています。そんなコーラひめのために妖精が届けてくれたのは、ワニ。ピンクのドレスを着て、かつらをかぶったワニが、おひめさまの代わりにしてくれます。さあ、どんなことが起こるでしょう。

『アレにもコレにも！モノのなまえ事典』

杉村喜光：作

ポプラ社

教科書の正しい名前は「教科用図書」といいます。じゃあ「人々」や「少々」で使う「々」の名前は？実は、漢字ではなく記号であらわし、決められた名前がないそうです。身近なモノの名前でも驚きがいっぱいですね。さまざまなものの名前について、本を読んで確かめてみてください。



その他のおすすめ本

本の名まえ	作者	出版社
星空としょかんへようこそ	小手鞠 るい	小峰書店
町にきたヘラジカ	フィル・ストング	徳間書店
どうしてなくの？	フラン・ピンタデーラ：作 星野 由美：訳	偕成社
キューティー・キューピー・キューピッド	小松原 宏子	静山社
ほんとうのことしかいえない 真実の妖精	マット・ヘイグ：作 杉本 詠美：訳	西村書店
怪物園	Junaida	福音館書店
つくって役立つ防災工作！水・電気・ ガスが使えないくらしを考える	プラスアーツ監修	学研プラス
世界を変えた知っておくべき 100人の発見	レオナール・デュポン：作 竹内 薫：訳・監修	小学館
ナメクジはカタツムリだった？	武田 晋一	岩崎書店
ゴリラのきずな—京都市動物園の ゴリラファミリー観察記	長尾 充徳	くもん出版